

総合医療情報システム運用管理等業務委託に係る特記事項

この特記事項は、総合医療情報システム運営管理等業務委託仕様書（以下、「仕様書」という。）に規定していない事項等について、本業務の委託者となる地方独立行政法人市立大津市民病院（以下「委託者」という。）が、本業務の受託者（以下「受託者」という。）に明示することを目的として、その詳細を定める。

1 対象システム

仕様書3に記載のシステム及び機器は、以下のとおりとする。

(1) 対象システム

- ・電子カルテシステム（富士通：HOPE EGMAIN-GX）
- ・地域医療連携システム（富士通：HumanBridge EHR リューション）
- ・歯科ライプラリ（富士通：HOPE EGMAIN-GX 歯科ライプラリ）
- ・重症病棟システム（富士通：HOPE EGMAIN-GX 急性期ライプラリ 重症病棟システムオプション）
- ・麻酔チャートシステム（富士通：HOPE EGMAIN-GX）
- ・汎用画像ファイリングシステム（富士通：HOPE EGMAIN-GX PORT ライプラリ）
- ・簡易記録ツール（富士通：HOPE EGMAIN-GX eXChart）
- ・カルテ記載ツール（富士通：HOPE Simplewrite）
- ・輸血セーフティマネジメントオプション（富士通：HOPE EGMAIN-GX 輸血セーフティマネジメント）
- ・カルテ参照システム（富士通：HOPE DWH-GX）
- ・IT資産管理システム（富士通：HOPE 瞬快）
- ・再来受付システム（富士通：HOPE 自動再来受付システム MEDIA STAFF）
- ・外来表示盤システム（富士通：Hospision）
- ・治験管理システム（富士通：HOPE NMGCP）
- ・看護勤務管理システム（富士通：タイムリフター）
- ・診療情報管理システム（富士通：HOPE 病歴大将）
- ・医事会計システム（富士通：HOPE X-W）
- ・医事統計システム（富士通：医事 DWH）
- ・調停システム（富士通：HOPE 調停システム）
- ・レセプト債権管理システム（富士通：HOPE 債権管理）
- ・POS レジシステム（富士通：POS レジシステム）
- ・眼科カルテシステム（ニデック：NAVIS-AZU）
- ・褥瘡管理システム（セーフマスター：褥瘡管理システム）
- ・診断書作成支援システム（インフォコム：Medi-UNITE 診断書）
- ・検体・輸血検査システム（A & T : CLINILAN）
- ・生理検査システム（日本光電：PrimeVita）
- ・病理診断支援システム（コンパス：Star Pathology）
- ・インシデントレポートシステム（メディシステムソリューションズ：アントルくん）
- ・栄養部門システム（コアソリューションズ：Eye Plus）
- ・放射線部門システム（富士フィルムメディカル：SYNAPSE）
- ・放射線治療部門システム（富士フィルム医療ソリューションズ：ShadeQuest）
- ・循環器動画システム（グッドマン：Goodnet）
- ・自動精算機（アルメックス：自動精算機システム）
- ・感染管理システム（ベックマン・コールター：ICTWeb）

- ・細菌検査システム（ベックマン・コールター：SMILE Honest）
- ・処方チェックシステム（トーショー：処方チェックシステム）
- ・透析業務支援システム（ニプロ：Diacom）
- ・調剤支援システム（トーショー：調剤システム）
- ・リハビリ管理システム（タック：タックリハビリ支援システム）
- ・健診システム（テクノア：iD-Heart II）
- ・会計待ち表示システム（アルメリックス：会計待ち表示システム）
- ・産科カルテシステム（トーアツ：TPMS-BX）
- ・グループウェアシステム（サイボウズ：Garoon）
- ・ナースコールシステム（アイホン：ナースコールシステム）
- ・採血業務支援システム（テクノメディカ：Assist More）
- ・内視鏡システム（富士フィルムメディカル：NEXUS）
- ・注射薬自動払い出しシステム（トーショー：注射薬自動払い出しシステム）
- ・ネットワーク管理システム（富士通：Systemwalker Centric Manager）
- ・ウイルス対策システム（TREND MICRO）
- ・人事給与システム（京都電子計算：SALT/ES）
- ・勤怠管理システム（京都電子計算：SALT/ES）
- ・文書管理システム（内田洋行：e-ActiveStaff）
- ・財務会計システム（BSN アイネット：SOFIA）
- ・物流管理システム（サンシステム：Medical Stream）
- ・ME 機器管理システム（九州テン：ACE MediStation）
- ・DPC 分析ベンチマークシステム（メディカル・データ・ビジョン：EVE）
- ・意思決定支援ツール（ELSEVIER：今日の臨床サポート）
- ・自動音声入力システム（アドバンスト・メディア：Amivoice）
- ・バイタル連携システム（令和7年度導入予定）
- ・院内ネットワーク環境
- ・インターネット環境
- ・滋賀県医療情報連携ネットワーク接続環境（びわ湖あさがおネット）
- ・委託者が今後導入するシステム

(2) 対象機器等

- ・サーバ機器
- ・クライアント機器（モニタ、マウス等周辺機器含む）
- ・高精細モニタ
- ・プリンタ（ラベルプリンタ含む）
- ・リストバンドプリンタ
- ・スキヤナ装置
- ・バーコードリーダ
- ・IDカードリーダ
- ・ICカードリーダ
- ・スマートフォン
- ・ペンタプレット
- ・POSレジ
- ・診察券発行機
- ・患者案内表示盤（会計待ち、診察待ち）
- ・再来受付機

- ・自動精算機
- ・プロジェクタ
- ・ネットワーク機器
- ・空調設備
- ・無停電電源装置
- ・委託者が今後導入する機器

2 業務時間等

仕様書5に記載の業務時間等は次のとおりとする。

ただし、(2)各号に掲げる業務については、必要な人員を追加して配置すること。

(1) 通常運用体制

受託者は、業務従事者の人数配置及び勤務ローテーションを作成するにあたり、次の事項を考慮し、安定したシステム運用管理に必要な人員を配置すること。

① 業務従事時間

業務従事時間は、病院開院日の午前7時30分から午後8時00分までとする。

② 業務対応実績（参考）

本業務における年間の対応件数は、直近の稼働実績に基づき、以下のとおりとする。受託者は、この実績及び傾向を踏まえ、適切な要員計画を策定すること。

対応区分	2023年度実績(件)	2024年度実績(件)
問合せ	1,340	1,385
依頼	6,604	6,531
トラブル（ソフト）	50	33
トラブル（ハード）	584	668
その他	3	0
合計	8,581	8,617

③ 人員配置の目安（参考）

受託者は、上記の業務従事時間および業務対応実績を鑑み、以下の時間帯別配置目安を参考に、業務が円滑に遂行できる体制を構築すること。

- ・午前 7時30分から午前 8時30分まで：1名以上
- ・午前 8時30分から午前11時00分まで：2名以上
- ・午前11時00分から午後 5時15分まで：3名以上
- ・午後 5時15分から午後 8時00分まで：1名以上

(2) 通常運用体制以外

① 仕様書7(2)のオペレーション業務

月次処理として、毎月11日頃までに（病院開院日を含む）に入院及び外来のレセプト出力処理、医事統計処理を実施すること。

② 仕様書7(1)⑦の障害時対応業務

ア 通常運用体制の場合

通常運用体制の業務時間内外を問わず、システム障害が復旧するまでの間、立ち会うこと。

イ 通常運用体制以外の場合

緊急連絡体制及び必要に応じて緊急出勤体制を整えること。

なお、緊急出勤にあたっては、緊急連絡を受けてから概ね60分以内に病院に出勤できる体制を整えること。

- ③ 仕様書 7(1)⑧「保守管理」に記載の保守点検及び電気設備点検の立会い
あらかじめ指定する休日に、システム（機器を含む）の保守点検及び電気設備点検の立会いを行い、必要に応じて病院関係部署への連絡を実施すること。